

知床沖における観光船の捜索救助事案に係る北海道災害対策連絡本部 第1回本部員会議 概要

北海道総務部危機対策局危機対策課

- ・日時 令和4年(2022年)4月24日(日) 10:00~10:20
- ・場所 北海道庁3階テレビ会議室
※オホーツク総合振興局及び東京事務所とテレビ会議を接続

1 開会(副本部長:浦本副知事)

これより、「知床沖における観光船の捜索救助事案に係る北海道災害対策連絡本部」の第1回本部員会議を開催する。

2 状況報告

(1) これまでの経過や道の対応(危機管理監)

<資料に沿って報告>

- ・遭難船は、有限会社知床遊覧船所属の観光船「KAZUI(カズワン)」で、乗客乗員は26名。また、遭難場所は知床沖、カシュニの滝付近となっている。
- ・これまでの経過について、昨日13時13分、第一管区海上保安本部に「船首部分が浸水し、沈みかかっている」との通報あり。これを受け、16時30分頃より、海上保安本部及び道警察のヘリが現場海域付近での捜索を開始し、19時40分には、航空自衛隊が第一管区海上保安本部の災害派遣要請を受理し、20時から活動を開始したところ。
- ・捜索態勢について、昨日4月23日は、海上保安庁の巡視船艇7隻、航空機2機、ヘリコプター3機、航空自衛隊の航空機1機、海上自衛隊の航空機1機、道警察のヘリコプター1機が捜索にあたったところ。
本日は、これらの機関のほか、道防災ヘリコプターによる捜索も行われる予定となっている。
- ・安否の状況について、本日7時5分の海上保安本部の発表によると、周辺海域で、本日5時5分に3名、同じく本日5時45分に1名、合計4名を発見し、救助活動を行っているところ。
- ・次に、これまでの道の対応について、昨日15時00分に第2非常配備体制とし、情報収集体制を強化してきたところ。
18時30分には危機対策課より第一管区海上保安本部中規模海難対策本部にリエゾンを派遣している。さらに、自衛隊の活動開始を踏まえ、20時00分に本庁及び関係総合振興局等に災害対策連絡本部を設置している。
また、21時00分には、オホーツク総合振興局においても斜里町ウトロ地区の現地合同対策本部にリエゾンを派遣しており、本日24日は航空調整のため、防災航空室より第一管区海上保安本部ヘリエゾン2名を派遣しているところ。

(2) 捜索救助活動の状況

ア 第一管区海上保安本部

- ・事案の通報を受け、直ちに船艇、航空機を現場海域に向かわせたところ。先ほどの説明にもあったとおり、現在も巡視船艇、航空機による救助活動を行っているところ。また、本日7時5分に発表されている4名についても引き続き救助しており、その後救急車で搬送をしているが、現時点での安否は不明となっている。

引き続き、現場海域、その周辺も含めて、船艇、航空機、固定翼、ヘリコプター等により救助活動にあたっているところ。

イ 航空自衛隊

- ・4月23日から航空機1機を運用し、2回の搜索救助活動を実施しているところ。また、夜間から今朝にかけて、ヘリコプター2機を女満別に展開させ、午前7時頃から、搜索救助活動を実施している。うち1機については、1名の要救助者を救助し、現在引き渡しを完了したと報告を受けている。2機目については、9時頃から活動を開始し、現在活動中となっているところ。
今後も引き続き、関係機関との連携を密にしながら、搜索救助活動を行っていく。

ウ 海上自衛隊

- ・昨夜から、哨戒機による搜索救助活動を行っており、順次機体を交代しながら活動を行っていくところ。護衛艦については、深夜に出航し、現在搜索活動にあたっているところ。

エ 北海道警察

- ・北海道警察本部に、災害警備対策室を設置し、方面本部、警察署で体制を構築し、昨日から救出救助活動を実施継続しており、現在まで警察航空隊のヘリコプター2機を利用し、上空からの搜索救助活動により、4名を救助したところ。陸上からも沿岸線における搜索救助活動を継続しており、警備隊を現地に配属しているところ。引き続き、関係機関と連携を図りながら、搜索救助活動に総力をあげ、取り組んでいく。

(3) 地方本部員等報告

ア 北海道オホーツク総合振興局（副局長）

- ・昨日の遭難発生連絡後、23日15時に第2非常配備体制とし、20時には本庁の災害対策連絡本部設置に合わせ、災害対策オホーツク地方連絡本部を設置し、情報共有を行うとともに、各本部員の所管する地元漁協や観光協会等と連絡体制をとっているところ。また、斜里町、海上保安庁、道警、消防で組織する現地対策本部が設置されたことから、当振興局からリエゾンとして職員を2名派遣し、情報収集・伝達にあたらせるとともに、斜里町長、地元道議会議員と直接連絡をとり、情報共有を図っている。海上保安庁、道警のヘリコプターや巡視船が24時間体制で、また、今朝6時から漁船も加わり、搜索救助活動を行っているところ。
また、網走厚生病院から医師1名、看護師2名、ロジスティクス1名が派遣され、現地では対応中となっており、要救助者発見の際は、斜里町国民健康保険病院へ搬送することとしている。本会議後、10時30分から地方連絡本部会議を行うこととしており、自衛隊、網走地方气象台、道警からも出席していただき、情報共有を図ることとしている。今後、リエゾンの派遣を継続し、情報収集に努めるとともに、要救助者が発見された場合の応援態勢の確認等を行っていく。

イ 北海道保健福祉部（保健福祉部長）

- ・医療救護体制について、今回の事故に際し、斜里町では乗客乗員の搬送先として斜里町役場ウトロ支所に救護所を設置しており、昨夜、搬送後の対応にあたる医師の派遣について、斜里町からオホーツク総合振興局に相談があったことから、現場から近い災害拠点病院である網走厚生病院と北見日赤病院で受入体制を整えるところに、DMATに待機要請を行ったところ。その後、本日早朝に斜里町から改めて、

DMAT の派遣について要請があり、5時56分に網走厚生病院から DMAT が出動し、7時過ぎに到着、現在ウトロの救護所で対応にあたっているところ。

ウ 北海道経済部観光局（観光振興監）

- ・観光客の皆様が巻き込まれたということから、現地の観光関連事業者から情報収集をしているところ。その上で、今後大型連休を迎えるにあたり、道内各地を訪れる方々が安全に観光をしていただけるよう、観光船を運航している事業者はもとより、観光関係者、交通事業者に対し、安全確保の徹底を働きかけてまいるところ。

(4) 気象状況（札幌管区气象台）

<資料に沿って説明>

3 対策指示（本部長：鈴木知事）

昨日、午後に発生した、知床沖における観光船の捜索救助事案では、関係機関の皆様による懸命な捜索が夜を徹して行われ、乗客・乗員26名の皆様の安否は不明の状況であったが、本日早朝からのヘリコプターによる上空からの捜索により、7時5分までに周辺海域で4名が発見され、現在、救助中となっているところ。

道では、事案の発生を受け、昨日15時から、第2非常配備体制をとり、人命最優先の考えのもと、庁内関係部局はもとより、防災関係機関の皆様と連携・協力し、情報収集を行ってきたが、昨日の夜に、第一管区海上保安本部から自衛隊に災害派遣要請が行われたことを踏まえ、昨日20時、情報収集をさらに強化し、必要な対策を迅速に実行できるよう、本庁並びにオホーツク総合振興局及び東京事務所に災害対策連絡本部、災害対策地方連絡本部をそれぞれ設置したところ。

本日は、道の防災ヘリも捜索活動に参加することとなっており、海上保安本部や自衛隊、警察の皆様と連携して安否が不明となっている方の一刻も早い救助活動に全力を挙げて取り組んでまいるところ。

各本部員におかれては、要救助者が発見された場合の医療救護活動やご家族が現地入りする際のきめ細かな対応など、人命を最優先として、また、乗客・乗員の方々はもとよりそのご家族の方々のお気持ちに寄り添った協力支援に当たっていただくようお願いする。

また、国交省においては昨日の大臣会見で人命救助に全力を挙げるとともに、運行会社の監査を行うよう指示したものと承知しており、観光船の安全運行に向け、北海道運輸局と連携して取り組むなど道として最大限の取り組みをお願いする。

4 閉会（副部長：浦本副知事）

本部長から指示のあったことについて、本部員及び関係機関は、必要な対応をお願いする。

以上をもって、第1回災害対策連絡本部員会議を終了する。